



ラテンアメリカと カリブ海： 「危機の時代の機会と課題」

セイコウ・イシカワ大使





序説

ベネズエラは脅威なのか?

制裁

反帝国主義抵抗

結論



a. ボリバリアン革命に対して継続される攻撃

ベネズエラはボリーバル革命が始まった当初から、政治的・外交的・経済的、そして特にメディアによる計画的、組織的な絶え間ない攻撃にさらされてきた。





序説

ベネズエラは脅威なのか？

制裁

反帝国主義抵抗

結論



b. ボリバリアン革命に対する連続的攻撃

ベネズエラ・ボリーバル共和国の合法的かつ正当な政権を妨害し、倒すための帝国主義的な介入行動。





序説

ベネズエラは脅威なのか？

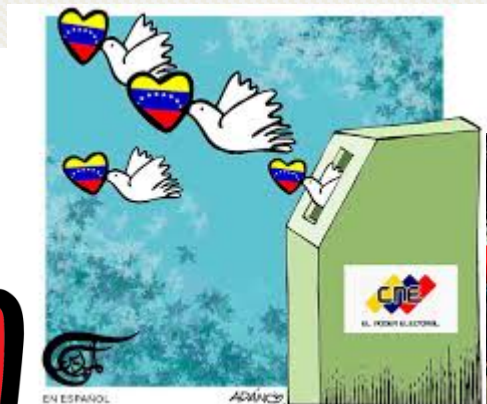
制裁

反帝国主義抵抗

結論

a. ベネズエラは脅威なのか？

- i. オバマ大統領の行政命令 (2015)。
- ii. ベネズエラの平和主義とその革命。





序説

ベネズエラは脅威なのか？

制裁

反帝国主義抵抗

結論

a. ベネズエラは脅威なのか？

iii. 経済的・地政学的な戦略的要因。

iv. ボリーバル的社会主義モデル。





序説

ベネズエラは脅威なのか？

制裁

反帝国主義抵抗

結論

a. 同じ戦略の中での様々な戦術。

- i. ウーゴ・チャベス大統領の死後、戦術を強化。
- ii. アメリカ合衆国の政治・情報組織による資金提供、戦術の主導。





序説

ベネズエラは脅威なのか?

制裁

反帝国主義抵抗

結論

a. 同じ戦略の中での様々な戦術。

iii. ベネズエラの変革のプロセスに対する国際的圧力: OAS (米州機構)、リマグループ、近隣諸国を利用した米国の干渉。





序説

ベネズエラは脅威なのか？

制裁

反帝国主義抵抗

結論

b. 制裁、さらに制裁。

- i. 米国による制裁。
- ii. 欧州連合 (EU) による制裁。
- iii. ベネズエラ経済危機の目的。
- iv. 石油禁輸の可能性。





序説

ベネズエラは脅威なのか?

制裁

反帝国主義抵抗

結論

c. ベネズエラの石油に対抗するカリブの米国の存在

様々な方法でペトロカリブの弱体化を探る。





序説

ベネズエラは脅威なのか？

制裁

反帝国主義抵抗

結論

d. 干渉の可能性。

世界世論に干渉側の用語法
(人道的危機・警察国家・麻
薬独裁体制) を売り込む。





序説

ベネズエラは脅威なのか？

制裁

反帝国主義抵抗

結論

a. 制憲議会。

- i. テロリスト野党が引き起こした紛争と暴力に対抗し、高度の対話を行う。
- ii. 新たな選挙による民主主義の行使。





序説

ベネズエラは脅威なのか？

制裁

反帝国主義抵抗

結論

b. 政府と野党の対話。

- i. ベネズエラの野党代表団は合意書の署名を拒否。
- ii. スペインの元首相ロドリゲス・サパテーロや他の国による調停。





序説

ベネズエラは脅威なのか?

制裁

反帝国主義抵抗

結論

c. ベネズエラの同盟国。

i. ベネズエラの国際的孤立は偽り。

ii. 多国間機関 (OPEC, 非同盟運動, カリブ諸国連合) におけるベネズエラの役割。





序説

ベネズエラは脅威なのか？

制裁

反帝国主義抵抗

結論



結論:

- 帝国主義は干渉の水準を高め、ボリーバル革命への攻撃を様々な形で強化。
- 人道的危機を焦点にベネズエラに対するメディアの操作。
- 軍事的介入の脅迫。
- 例え内戦が勃発しようと、ワシントンにとって都合のよい政権への移行を図る。





序説

ベネズエラは脅威なのか？

制裁

反帝国主義抵抗

結論



結論:

- ベネズエラの野党による対話の拒否。
- ボリーバル革命を大陸における政治的重大問題と認識。
- ベネズエラにたいする中南米の右翼勢力の役割。
- ボリーバル革命とその原則を守るための反帝国主義抵抗。
- 連帯は抵抗するための道具である。





序説

ベネズエラは脅
威なのか？

制裁

反帝国主義抵抗

結論



「帝国主義が存在するかぎり、ボリーバル革命は、危険、脅迫にみまわれる。というのは、われわれは、彼らの代替モデルを建設しており、もしわれわれが成功するなら、資本主義が一掃されるからである」。

ボリーバル革命の永遠の司令官、ウーゴ・チャベス・フリーアス

